

ひびき



ホームページ用でカメラマンが撮影

日頃から当法人に多大なるご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、法人行事の中止や面会の原則中止等でご家族等の関係者の皆様には大変なご心配とご不安を与您しておりますこととお詫び申し上げます。昨年度には三回目のワクチン接種も終え、今年度こそは、一日も早い通常の生活を取り戻し、普通に面会が可能となり「通い型介護」が実現できることを信じて、事業運営して参ります。

令和四年度から三カ年の計画として、第六次中期経営計画がスタート致しました。社会福祉法人として、地域における公益的取り組みを推進し積極的に地域活動に貢献すること、また「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、その未来志向の考え方を学び、法人として「いま何ができるのか」「いま何をすべきか」を考え、出来ることに取り組んで参ります。

響会の各部門が部門間の壁を越えて協同することを基本として、響会の創設以来の法人理念である「安心と暖かさ」を追求し、響会とご縁のあった方々と、お互いが「安心と暖かさ」を感じることが出来るように、相手の立場に立った支援を心掛け、職員が一丸となって全力で取り組んで参りますので、今後とも皆様方のご指導とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



新館リビングから毎年満開の桜が見えます

令和四年度（新年度）のご挨拶

施設長 柘原憲彦

響会広報誌

第73号

令和4年4月
(年4回発行)

令和四年 四月



令和4年度事業計画中期経営計画より抜粋

SDGs

日常生活の当たり前に「問い」を立て、
その上でSDGs17のゴールのつながりを、法人として考え行動する

ホームページリニューアルのお知らせ

この度、ホームページをリニューアル致しました。
これまでのパソコン専用のホームページからスマートフォンやタブレットからも、快適にご利用いただけるよう作成しております。これからも【より使いやすく】【より見やすく】目指してまいります！



交流事業

小学校 PTA 活動のベルマーク運動に協力しています。(玄関ホールに回収BOX設置)



善意銀行を通してアルコールジェルを、厚生労働省からはグローブをご寄贈いただきました。ありがとうございました。

今年度も響会に新しい風が入ります

令和4年度新入職員



よろしく
お願いします

令和4年度 地域支え合い強化推進事業 (大田区委託事業) について

令和4年度の「地域福祉コーディネーター」の紹介です。



大田区社会福祉協議会を勤務地とし、中澤『大森地区』、八板『蒲田地区』を担当します。世代にとらわれない相談、地域活動を行ってまいりますので、お気軽にお声掛けください。

中澤です

八板です

東京都福祉人材センター主催 施設内研修

令和3年度下半期も東京都福祉人材センター主催の登録講師派遣事業に応募し、オンラインも含め施設内研修を行うことができました。登録講師派遣事業は、390以上の科目から無料で研修が受講できる東京都の委託事業です。今後も活用できたらと思います。

- ・利用者の心に届く「マナー」と「コミュニケーション」
- ・面接の基礎 バイステック7原則から学ぶ 援助関係の構築
- ・持ち上げない介護
- ・面接技術 相談時のコミュニケーションと面接の基本パターン

参加者の声

- 元々腰痛でしたが研修後は腰が痛むことが少なくなりました。
- 知識としては理解をしていましたが、研修を受けて普段の自分の介助方法を見直す機会となり、とても勉強になりました。
- オンラインでの傾聴トレーニングでは相手の細かな感情表出や目線、空気が管などが感じにくいことがわかりました。○基本や初心に戻ることは必要である。
- 言葉はクライアントの解釈次第で変わってしまう。非言語からは6~7割読み取ることができると知った。○相手を常にわかって努力する。等々

令和4年度 事業計画 (抜粋)

Peaceful Life 体系図 (好日苑の特長)

先手のケア
[Pre head care]

穏やかな看取り介護

【Peaceful Care】(好日苑造語) H21年度～H22年度

ノーリフティングポリシータスクフォース

【タスクフォース(緊急性の高い、特定の課題に取り組むために設置される特別チーム)】

R2年度	R3年度	R4年度
ノーリフティングポリシーTF	PT配置(個別機能訓練)	介護ロボットTF

認知症ケア【DementiaCare】

Peaceful Life 【穏やかな暮らし】

スマート化

職員育成システム
[6つの風船]



特別養護老人ホーム
好日苑

(感染対策をして
稻荷坂公園に桜を
見に行きました)

5S 委員会

本館会議

新館会議

【本館 5S 委員会】
委員長：本館主任
本館 2 階副主任
本館 3 階副主任
本館 4 階副主任
本館 2 階 FL
本館 3 階 FL
本館 4 階 FL

【新館 5S 委員会】
委員長：新館主任
新館 1 階副主任
新館 2 階副主任
新館 3 階副主任
新館 1 階 UL
新館 2 階 UL
新館 3 階 UL

5S 活動とは、職場環境改善の際に用いられるスローガンです。各職場において徹底されるべき事項で、「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の5項目を指しています。5S という名前には、これら5項目が、いずれも日本語での頭文字がSとなっている事に由来します。

【5つのS】

- 整理 必要な物と不要な物を区別し、不要な物を処分すること。職場には必要な物以外は一切置かない。
- 整頓 必要な物がどこにでも、すぐに取り出せる状態にしておくこと。探すムダを省く。
- 清掃 ゴミなし、ヨゴレなしの状態にすること。職場も設備もピカピカに磨き上げる。
- 清潔 整理・整頓・清掃を徹底すること。この3つを実行することにより、清潔な職場環境を築くことができる。
- しつけ 決められたことを、決められたとおり正しく実行できるように習慣づけること。



今年度から新たに「5S 委員会」を立ち上げました。

5S 委員会を中心に、日々の活動の中で 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を意識した行動を行う事で、より良い職場環境の改善と、気づきを大切にする職員の育成を行っていきます。

2022 年冬 寒くても皆様お元気です



【 在宅部門中期目標(ビジョン) 2022年度～2024年度 】

基本目標1

「利用者」

暖かさを感じる ケアシステム

(利用者の心を共有する)

基本目標2

「職員」

働きやすい職場環境

(人が人を育てる)

(熱意と実行力のある人財の育成)

基本目標3

「経営」

利用者が安心できる経営基盤

(法令順守) (健全経営)

(経営安定) (地域に貢献)

在宅と特養が連携し、好日苑多機能型居宅介護を以下のとおり体制構築します。



利用者本位の視点で提供されるサービスは、施設への通い(デイサービス)を中心とした宿泊(ショートステイ)や訪問(ヘルパーステーション)です。例えば通いであれば、利用者様は定期的に施設へ出向き、日常生活の支援や機能訓練などを受けます。また介護者の体調不良や数日の外泊などが発生する場合は、数日間施設に宿泊することも可能です。ケアプランセンターの介護支援専門員が利用者様の立場に立った居宅サービス計画を作成し、必要に応じて「通い」「宿泊」「訪問」のサービスを組み合わせることで、在宅かつ住み慣れた地域で生活が継続でき、馴染みのスタッフからサービスが受けられ、環境の変化もなく安心感が得られます。

検討基盤

「報告」・「連絡」・「相談」・「提案」 ↔ 「命令」・「援助」・「解決」
 << 「響会方程式」から「ひびき協働社会」を目指す >>

SDGs：日常生活の当たり前に「問い」を立て、その上でSDGs17のゴールのつながりを、法人として考え行動する。



【 令和4年度スタートにあたり 】

住み慣れた地域で自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活をし続けていただく為に、ケアプランセンターの介護支援専門員が【好日苑多機能型居宅介護】の考え(※響会方程式を駆使した日常生活支援を「訪問」「通い」「宿泊」サービスを組み合わせ、また馴染みある職員が横断的・一体的にサービス提供を行うことを土台にして、環境の変化がなく安心感を持った在宅生活をし続けていただく一翼になる)を駆使した居宅サービス計画を作成していく為に、以下重点施策を掲げ、実施します。

(8)好日苑ケアプランセンター>> 第6次中期経営計画を踏まえた令和3年度事業計画の重点施策	
利用者	① 好日苑多機能型居宅介護としてのCPC会議の充実 ② 医療機関との連携(積極的なプランの受け入れ)
職員	① 特定事業所としてのエリア内事業所へのファシリテーター機能・地域創りへの参画 ② 特定事業所加算Ⅱ算定(介護支援専門員4名体制) ③ 好日苑多機能型居宅介護のプラットフォーム実践のための先手アセスメントと舵取り
経営	① 居宅連携率70%/年 >> デイサービス・ヘルプサービス・ショートステイ ② 介護支援専門員1名35件/月



ダブルレインボー

好日苑 ケアプランセンター

SDGs(持続可能な開発目標・2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す)への取り組み
 法人全体ならびに事業所としては「つかう責任(マイボトル持参)」
 「コピー用紙の削減」に取り組みます

【 令和4年度スタートにあたり 】

住み慣れた地域で自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活をし続けていただく為に【好日苑多機能型居宅介護】と称して、響会方程式を駆使した日常生活支援を「通い」「訪問」「宿泊」サービスを組み合わせ、また馴染みある職員が横断的・一体的にサービス提供を行うことを土台にして、環境の変化がなく安心感を持った在宅生活をし続けていただく一翼になれるよう、以下重点施策を掲げ、実施します。

(6)好日苑デイサービスセンター≫ 第6次中期経営計画を踏まえた令和3年度事業計画の重点施策

利用者	① 送迎エリア拡大と送迎体制一本化 ② 機能訓練体制整備・加算取得 ③ Wincareの有効活用(電子記録の共有)
職員	① 多機能型職員配置と短時間介護職員検討 ② ユマニチュード基本技術・研修受講 ③ 認知症ケア関連加算維持・新規算定
経営	② 居宅連携率50%/年 > デイ稼働率90.0%(SS連携含む)



趣味活動の時間

好日苑 デイサービスセンター

SDGs(持続可能な開発目標・2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す)への取り組み
法人全体ならびに事業所としては「節水」「産業と技術革新の基盤」「温室効果ガスの削減」「コピー用紙の削減」に取り組みます



イベント食



令和4年2月より
好日苑デイサービスセンター
相談員に着任致しました
関雅宏です。今年度も皆様
に楽しく過ごしていただける
よう職員一同頑張ります。



【 令和4年度スタートにあたり 】

住み慣れた地域で自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活をし続けていただく為に【好日苑多機能型居宅介護】と称して、響会方程式を駆使した日常生活支援を「通い」「訪問」「宿泊」サービスを組み合わせ、また馴染みある職員が横断的・一体的にサービス提供を行うことを土台にして、環境の変化がなく安心感を持った在宅生活をし続けていただく一翼になれるよう、以下重点施策を掲げ、実施します。

(7)好日苑ヘルパーステーション≫ 第6次中期経営計画を踏まえた令和3年度事業計画の重点施策

利用者	① Wincareの有効活用(電子記録の共有) ② ターミナルケース等帯派遣(2時間ルールの弾力化を踏まえた柔軟な訪問)
職員	① 多機能型職員配置と土日勤務形態の試験的開始 ② 認知症専門ケア関連加算新規算定(認知症介護実践者配置)
経営	① 居宅連携率60%/年 > サービス提供責任者2名130時間+兼務1名45時間+登録120時間



好日苑 ヘルパーステーション

SDGs(持続可能な開発目標・2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す)への取り組み
法人全体ならびに事業所としては「節水」「コピー用紙の削減」に取り組みます

支援センター



- ・六郷
- ・西六郷
- ・上池台
- ・嶺町 / シニアステーション東嶺町
- ・馬込 / シニアステーション馬込
- ・南馬込 / シニアステーション南馬込



来所された方には、マスク着用、手指消毒、体温測定のご協力をお願いしています

地域包括支援センター南馬込/シニアステーション南馬込

馬込特別出張所主催 元気維持事業



認知症サポーター養成講座 In 馬込特別出張所



活動の一部をご紹介します!



シニアST南馬込 『楽しくエクササイズ』



シニアST南馬込 『骨盤底筋体操』



シニアST南馬込 『演奏会』



大田区地域包括

今回は馬込地区での様子をご紹介します。
馬込地区の地域包括支援センターでは
シニアステーションが併設されております。

地域包括支援センター馬込/シニアステーション馬込



窓口での相談
風景



スマートフォン
体験会

活動の一部をご紹介します!



シニアST馬込
『地域講座』



シニアST馬込
『美しい日本の文化』





笑顔で過ごしていただくために
特別養護老人ホーム 好日苑 牧島 諒汰
(2020年4月 入職)

福祉の道に進んだきっかけ

私が中学生の時に、近くに住む祖母に介護が必要となりました。ちょうどその頃、母がヘルパーとして働き始めたため、私たち兄弟も交代で祖母の自宅に行っていました。祖母は認知症で同じ話を何度もしますが、私はそんな祖母と話しをすることが楽しかったです。また、母は働きながら祖母の介護をしていましたが、とても楽しそうに働いていたので、私の中では介護というものが身近で、介護は大変ではなく、楽しいのかな?と興味を持ち、職業として考えるようになりました。

高校は福祉コースのある学校へ、卒業後は介護福祉士の専門学校へ進学しましたが、専門学校は思っていた以上に大変でした。実技の授業や実習は楽しかったのですが、当たり前ですが、高校とは違い専門的なことを学ぶためには授業時間も長く、勉強があまり得意ではない私とはにかく座学が大変!介護福祉士国家試験のため、自分で言うのもなんですが、本当に受験勉強を頑張りました。

好日苑に入職

好日苑に入職した理由は、好日苑の新館で実習をしたからです。ユニット施設を実際に見たのはその時が初めてですが、ゆったりとした時間の中で利用者様が暮らしているように感じました。また、当時のフロアーや職員の雰囲気がとてもよく、就職は好日苑以外考えていませんでした。

働き始めてみると

毎日の仕事に追われ、利用者様と関わる時間って、意外と少ないんだな~と、思いました。今は、その少ない時間でどうやって関わっていくか考えています。祖母のことになりますが、同じ話しをする祖母の話しを聞きながら、次はどういうふうに返すと祖母が楽しんでくれるのかと、考えていました。その時と似ているような気がします。



また、働き始めて大変だったと思うことは、ご利用者様を覚えることです。特養(特別養護老人ホームの略)とSS(ショートステイ)が混在しているフロアーに配属されたので、誰が特養で、誰がSSなのか全くわかりません。覚えても翌日には退所されていて、頭が混乱してしまいます。今ではそんなことはありませんが、人のことを覚えることがこんなに大変だとは思いませんでした。

広報誌が発行される頃には、就職して3年目を迎えます。昨年度は通常業務の他、レクリエーションクラブの担当をさせていただきました。各フロアーの担当ケアワーカーと一緒に考えたレクリエーションで、利用者様の笑顔が見られるととても楽しいです。基本、楽しく働いていますが、仕事へのモチベーションが少し下がった時もありました。その時は周りの先輩が声をかけてくれて、話しを聞いてもらい、とても嬉しかったです。お休みもちゃんと休めると気分も変わります。話しを聞いてもらったり、気分を変えたりすることってとても大切だと気づきました。おかげ様で今はヤル気満々です(笑)

どんな支援者になりたいですか?

私が就職してからコロナが流行り出し、この2年間は常に感染対策ばかりです。私はこの状況しか経験していないので、コロナ前の利用者様の暮らしは私にはわかりませんが、どんな時でも、私は利用者様に笑顔で過ごしていただきたいです。老人ホームでの暮らしは、出来ないことが多いと思われがちで、利用者様自身も諦めて暮らされていることもあります。主役は利用者様です。特養だからではなく、特養でも当たり前の暮らしができるよう、考えていきたいと思っています。また、特養は利用者様が最期に過ごす場所です。『最期はここに来てよかった』と、少しでも思っただけだと幸せですね。ケアワーカーとしていつまでも利用者のために...と、思い続けられる人でいたいです。

表紙のことは

新年度を迎え、リニューアルしたホームページの写真を使いたい!と思い選びました。他にも素敵な写真がたくさんあります。是非、ホームページをご覧ください。



心の小箱
をご活用下さい

(玄関ホール)

ご意見・ご要望・お気づきの点などお気軽にお寄せ下さい